

11月3日・文化の日 43名のみなさんの参加で 第1回県民大集会実行委員会を開きました

11月3日・文化の日に、「上関原発を建てさせない山口県民大集会」第1回実行委員会を開きました。全国各地から43名のみなさんが参加し、熱心に話し合いました。

集会「賛同者」の呼びかけを広く

最初に、前事務局長が家庭の事情で辞任され、新しく原康司さんに事務局長を引きうけていただいたことが紹介されました。みなさんの大きな拍手で、事務局長就任が了承されました。

原新事務局長のあいさつ(概要)

平生町佐賀に住んでいます。シーカヤックのガイドや佐合島での「こどもの自然学校」、カフェ経営などで忙しくしています。

スラップ訴訟被告の一人でした。みなさんのご支援で「勝利的和解」を勝ちとることができました。心からお礼申し上げます。(大きな拍手)

来年の県民大集会で1万人集められたら、少なくとも1年間は工事着工はできないと思います。それだけの大きな影響力を発揮する。埋立免許の許可が下りたことも知らない人もいる中で、それぞれの方が自発的に行動するその場を整えてあげるのが集会の目的だと思います。日頃は自民党を支持している人も来られる場をつくるのが大事です。そのためには、楽しい、やさしい雰囲気が必要です。「楽しいな、勉強になったな」と思える集会にしたいです。このことは、祝島のおばちゃんたちから学びました。おばちゃんたちは、厳しい切迫した状況の中でも冗談を言いあい、笑い、楽しそうにたたかっています。多くの人に若い人に来てもらうために、お互いにリスペクト(尊重)しつつ呼びかけましょう。いろんな意見を出し合って下さればと思います。

第一弾チラシに積極的な提案意見

第一弾の仮チラシの案が配られ、みなさんからいろんな角度から積極的な提案がありました。事務局では、みなさんのご意見をできるだけ採りいれながら、少しでも期待にこたえるものを作成する努力をします。集会にむけて行動するためには、一日も早く案内のチラシと「賛同者募集」用紙がいります。11月中・下旬までにはお手元に届くようにしたいと努力中です。

「県民大集会」成功のためには、集会の賛同者を3000人規模で集めることが大事だと提案がありました。「賛同者募金」にできるだけ協力していただくようお願いすることが大事だとご意見がありました。同時に、学生さんなどの賛同を呼びかける時には、1000円の賛同募金の額にこだわらないことも大事だとの意見も出されました。

実行委員会当日に配られた賛同者募集用紙を使っていたきながら、みなさんから出されたご意見を採りいれてより良い募集用紙をつくりたい。

各地域で地域実行委員会を準備

柳井・熊毛郡地域 地元なので昨年以上に頑張る。今月中に実行委員会を開く。

長門地域 毎月の第二水曜日に会議を開いている。年明けには「日本と原発」の映画の上映を計画している。

下関地域 毎週金曜日に、アピール行動と会議(勉強会)を開いている。3本の映画の試写会を開いて、1月か2月に1本に絞って上映会を持つ。

宇部地域 今日から10日以内に実行委員会を開く。これまで一緒だった山陽小野田も独自の実行委員会を持つ。もちろん連携していく。

山口地域 1回目の実行委員会を早く計画したい。また、県議さんに来ていただいて「話を聞く会」を計画する。

光・周南地域 先月末、有志で周南市と光市の会場で民進、共産、社民の県議さんと話し合う会を持った。有意義な集まりになったと思っている。

各地域からたくさんの人を連れて来よう

岡本事務局次長から、「集会の成功には、チラシなどの工夫は大事です。そして、いちばん肝心なのは、一人ひとりお誘いしてそれぞれの地域で500人、1000人と連れてくることです」と各地域で実行委員会をつくり知恵を出し合って多くの